



本年度

アカデミー賞® 主演女優賞受賞!!
ゴールデン・グローブ賞主演女優賞受賞

(ドラマ部門)



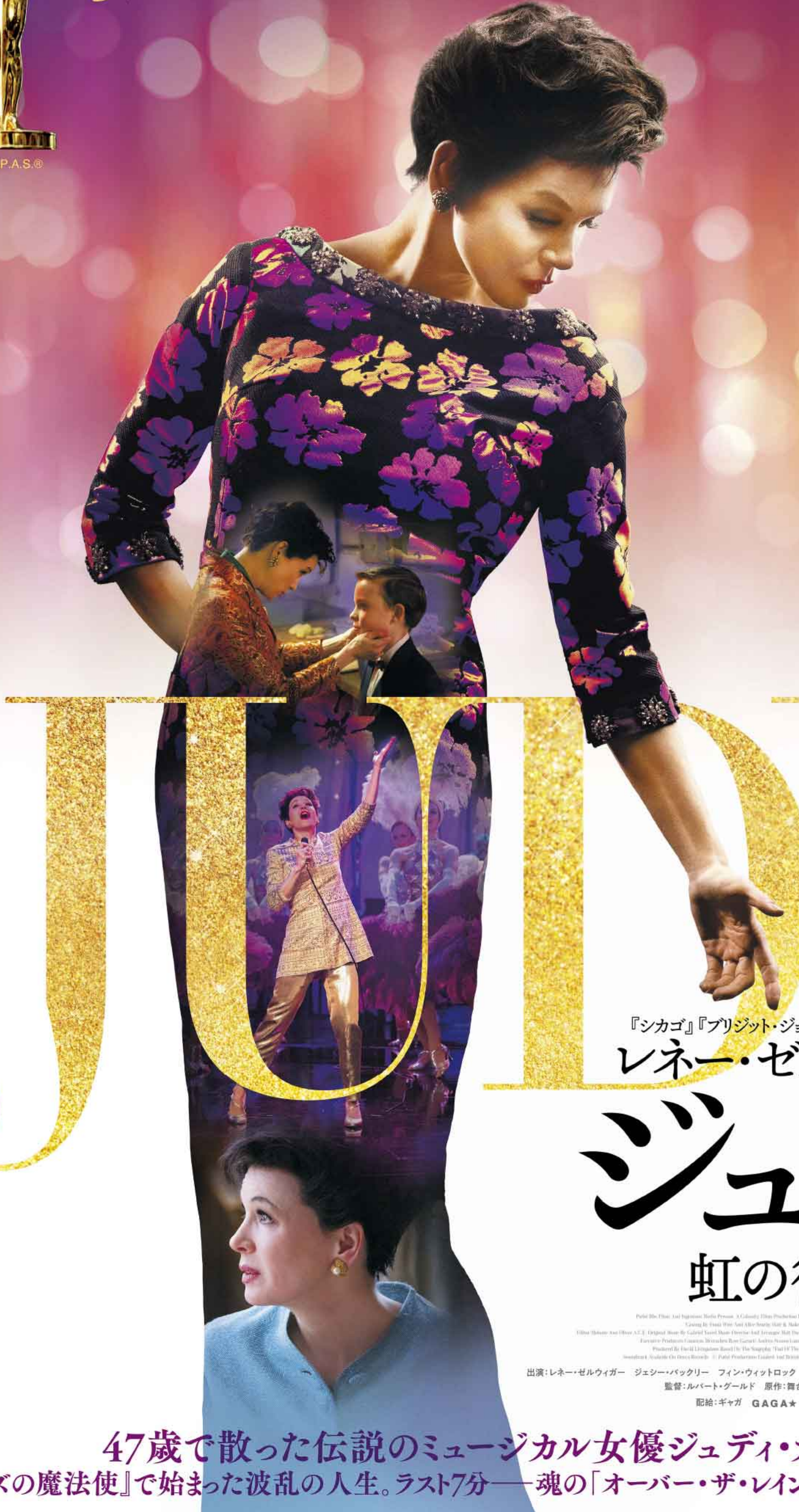
1月

ala 担当
おすすめ
ポイント

名作「オズの魔法使(39)」を観てたまげました!あの時代に、これほど独創的で夢のある映画が作られていたのかと大興奮。しかしまさかその裏側でこんなことが起きていたとは…。とにかく、ジュディ・ガーランドは愛の人。しかもその愛はエンタメ界だけにとどまらず、当時も理解されにくかったLGBTQコミュニティにも及び、その象徴となるレインボーフラッグは、彼女が歌う「Over The Rainbow」がもたらしているとか。劇中に出てくるカップルにも注目です。(担当・吉川)

【イギリス / 2019年 / 118分 / 字幕】

スポットライトの中、愛を求めて――



『シカゴ』『ブリジット・ジョーンズの日記』シリーズ
レネー・ゼルウィガー

ジュディ

虹の彼方に

出演:レネー・ゼルウィガー ジェシー・バックリー フィン・ウィットロック ルーファス・シーウェル マイケル・ガンボン
監督:ルパート・グールド 原作:舞台「End of the Rainbow」ピーター・キルター
配給:ギャガ GAGA★ gaga.ne.jp/judy

GAGA★

47歳で散った伝説のミュージカル女優ジュディ・ガーランド
『オズの魔法使』で始まった波乱の人生。ラスト7分――魂の「オーバー・ザ・レインボー」。感動と慟哭の実話

© Pathé Productions Limited and British Broadcasting Corporation 2019

2022. 1.30 (日) / 1.31 (月) ①10:00 ②13:30※開場は各回 30 分前

可児市文化創造センター ala・映像シアター

【料金】一般 900円 18才以下 450円 【チケット発売日】11.3(水・祝) 9:00~ ※電話予約は4日(木) 9:00~

感染症対策における
アラからのお願い

- ・館内ではマスク着用をお願いします。
- ・受付時に検温を行います。発熱があった場合、入場をお断りする場合がございます。
- ・当日の混雑防止のため、チケットの事前発券にご協力ください。
- ・厚生労働省による接触確認アプリ (COCOA) のご利用をお願いします。

アラ感染症対策 WEB ページ
<https://kpac.or.jp/ala/covid19/>





ジュディ

虹の彼方に

47歳で散った伝説のミュージカル女優ジュディ・ガーランド

『オズの魔法使』で始まった波乱の人生。
ラスト7分一魂の「オーバー・ザ・レインボー」。
感動と慟哭の実話。

1939年、映画「オズの魔法使」の主人公ドロシー役に大抜擢されたジュディは、17歳にして一躍スターダムを駆け上がる。だが、華麗なるキャリアのスタートは、波乱万丈の人生の幕開けでもあった。まだ幼い頃からスレンダーな体形をキープし、何時間も眠らずに働けるようにと、映画スタジオから薬漬けにされていたジュディは、彼女を支配下に置くための様々なハラスメントも受けていた。その結果、不朽の名作『スタア誕生』で1955年にアカデミー賞主演女優賞にノミネートされるなどの栄光と、不眠症や不安神経症に悩まされ入退院を繰り返すという闇を、幾度となく往復していた。

そんなジュディが、47歳の若さで亡くなる半年前、1968年の冬に行われたロンドン公演の日々が今、明かされる。ミュージカル史上最高峰の女優の最後のショーの全貌とは？

ジュディ・ガーランド 略歴

- | | | | |
|-------|--|-------|--|
| 1922年 | ミネソタ州に生まれる。 | 1949年 | MGMがジュディを解雇。再び自殺未遂事件を起こす。 |
| 1929年 | 2人の姉と共に「ガム・シスターズ」のひとりとしてデビュー。 | 1950年 | 離婚。 |
| 1935年 | MGMと専属契約。MGMは契約に「スリムでいること」を含め強制的なダイエットを命じた。体質的に太りやすかった彼女は当時ハリウッドでダイエット薬として使用されていた覚醒剤（アンフェタミン）を常用するようになる。 | 1952年 | シドニー・ラフトと3度目の結婚。ハリウッドを離れ、ロンドンやNYで歌手活動を行う。ジャズ歌手として再認識される。 |
| 1939年 | 『オズの魔法使』で主演に抜擢され人気スターとなる。 | 1954年 | 『スタア誕生』で主演。大ヒットするも、撮影中の遅刻や出勤拒否などから制作会社が受賞のための根回しや宣伝を行わず、受賞を逃す。再び荒れはじめ、数度の自殺未遂を起こす。 |
| 1941年 | 作曲家のデヴィッド・ローズと結婚。 | 1961年 | 『ニュールンベルグ裁判』でアカデミー助演女優賞にノミネート。カーネギー・ホールでのコンサートを収録したアルバムがグラミー賞最優秀アルバム賞を受賞。ジュディ自身も最優秀女性歌唱賞を受賞。薬物中毒と神経症が悪化。 |
| 1943年 | 離婚。この頃から神経症と薬物中毒の影響が表面化し始める。自殺未遂事件を起こす。 | 1965年 | 離婚。 |
| 1945年 | 映画監督のヴィンセント・ミネリと再婚。 | 1969年 | 睡眠薬の過剰摂取にてバスルームで死去。 |
| 1946年 | のちに女優となる娘ライザ・ミネリを出産。 | | |
| 1949年 | 『アニーよ銃をとれ』の撮影中に錯乱状態に陥り、アニー役から下ろされる。 | | |

〈チケット取り扱い〉 可児市文化創造センター・インフォメーション

TEL

0574-60-3050

9:00-19:00
(火曜休館/祝日の場合は開館・翌平日休)

インターネット予約

<https://www.kpac.or.jp>

アキラ

検索



インターネット
予約対象



Webページ